

# 平成28年大雨被害後の 伏美岳の現状

十勝山岳連盟 理事長 上寫 寛  
(芽室山の会所属)



MEMURO TOWN

# 芽室ってどんなまち？



前月比

町民数

17,740 (-17)

世帯数

8,029 (-3)

令和7年2月28日現在

(外国人含む)

人口データPDF

アクセス

町長の部屋

芽室町は十勝平野の西部に位置しており、南東部は帯広市、北西部は清水町、音更町、鹿追町に接しています。

町の西部は日高山脈に由来する山岳地帯となっており、日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されています。

# 芽室町はゲートボール発祥の地



戦後間もない時代、芽室町で製パン業を営んでいた鈴木栄治氏が、物資不足の中で子供達が遊べるスポーツを考え生まれたのが「ゲートボール」でした。

# 芽室町と日高山脈





# 芽室山の会の創設

昭和30年頃から、芽室町役場や帯広信金芽室支店などの職員に熱心な登山愛好者がいました。この愛好者のうち、当時23歳の岡田浩良さんが中心となって、同好会グループなどに合流を呼びかけ、登山活動の活性化をはかり一般への登山普及推進を目的として、昭和35年4月8日に芽室山の会が創設されました。

伏美岳への道

一般の登山普及を目的に始まった山の会でしたから、皆が安全に日高の山を楽しめるようにしたいとの強い思いがありました。創設時の勢いもあり、美生川支流のニタナイ川上流から尾根つたいにピパイロ岳を目指す安全な登山道づくりが、会が創設された翌々年の昭和37年に始まりました。

しかし、会員はサラリーマンや農業者で構成されており、頻繁に山に入ることはできません。どうしても仕事の合間や天候を見計らってのことになりますので、年間10日ほどしか作業できず、なかなか思うように進みません。当時作業に携わった会員は「何度止めたいと思ったことか…」と回想されています。

作業は4～5人で行うことがほとんどでしたが、時には芽室高校山岳部にも手伝ってもらい10人規模のこともありました。開始当初は林道もない状況で、作業現場まではテントを担いで沢を遡行し、作業に2日以上かかることもありました。登山道づくりは、5月の残雪期に山に入って赤いテープを枝に付けておき、雪解け後、それを目印に進められました。

熊の縄張りに踏み込んでいるわけですから、当然その糞や足跡は頻繁に見られました。沢の中に黒い塊があり、鹿かなと思ったら熊だったということもありました。その後トムラウシ林道が奥地まで整備され、現場に到達する時間にも余裕ができ、作業に多くの時間を費やせるようになりました。

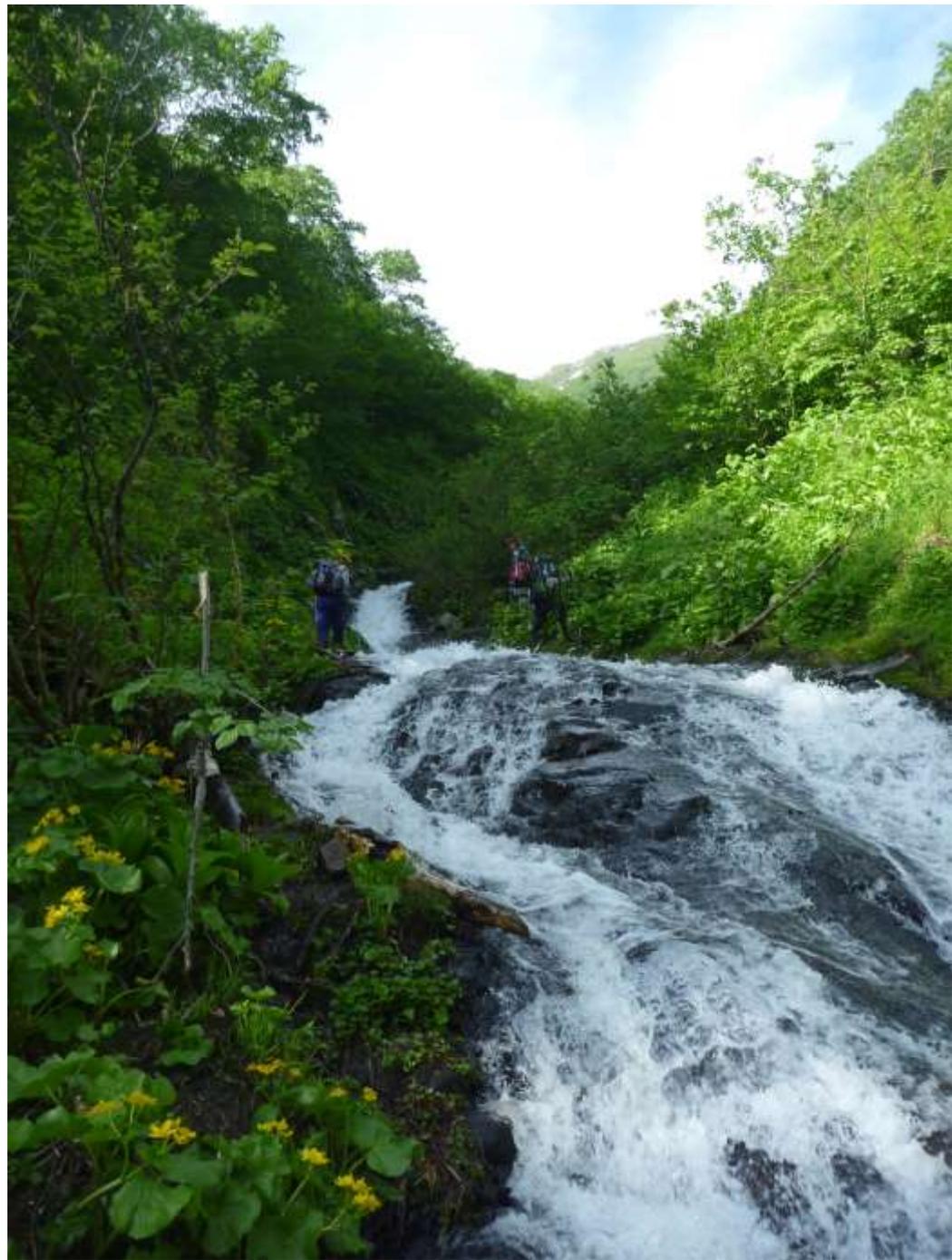
ピパイロ岳への登山道は尾根をたどって進んでいきましたが、1,731mの妙敷山が目線の高さになっても、尾根はさらに上に続きました。地図上ではその先に1,792mの表示があるのみの無名峰があり、作業はその上を通過します。目指すなら名前があった方がいい。登山口付近の地名が伏美ということから、その名にあやかり「伏美岳」と命名しました。1,792mの無名峰は我らが「伏美岳」となり、作業の張り合いになりました。

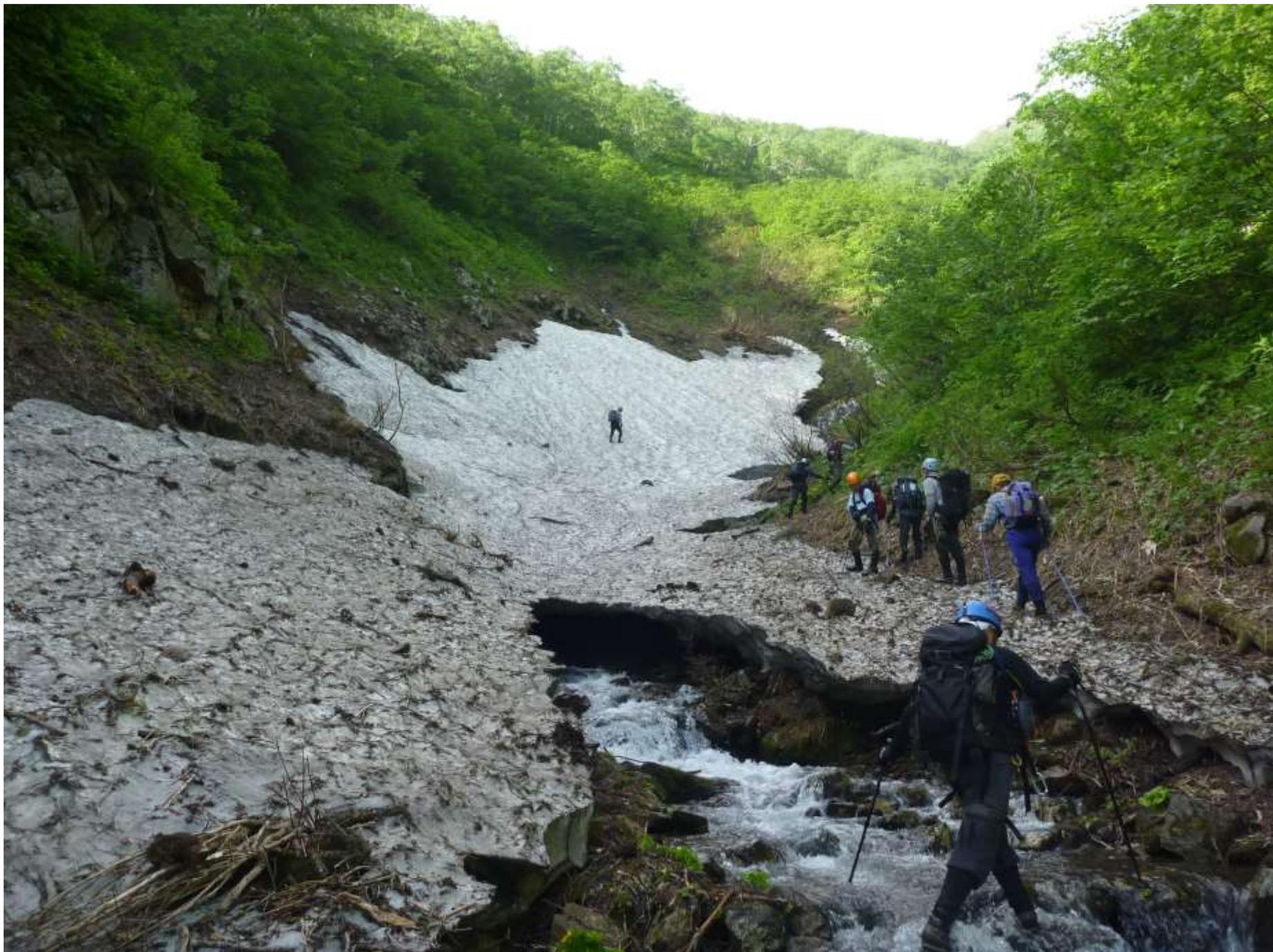
道づくりを始めてから15年後の昭和52年10月、岩が露出したピークまで登山道がつながりました。伏美岳のピークです。眼前には北日高山群、中部日高山群、十勝、夕張、大雪の山群が大パノラマを形成し、それは岳人が胸の高鳴りを覚える光景です。この感激に一同抱き合い、血豆のできた手で固い握手。誰からともなく万歳の声が発せられました。15年の苦労が報われた瞬間です。下山してからの乾杯の酒の味は格別であったことは言うまでもありません。

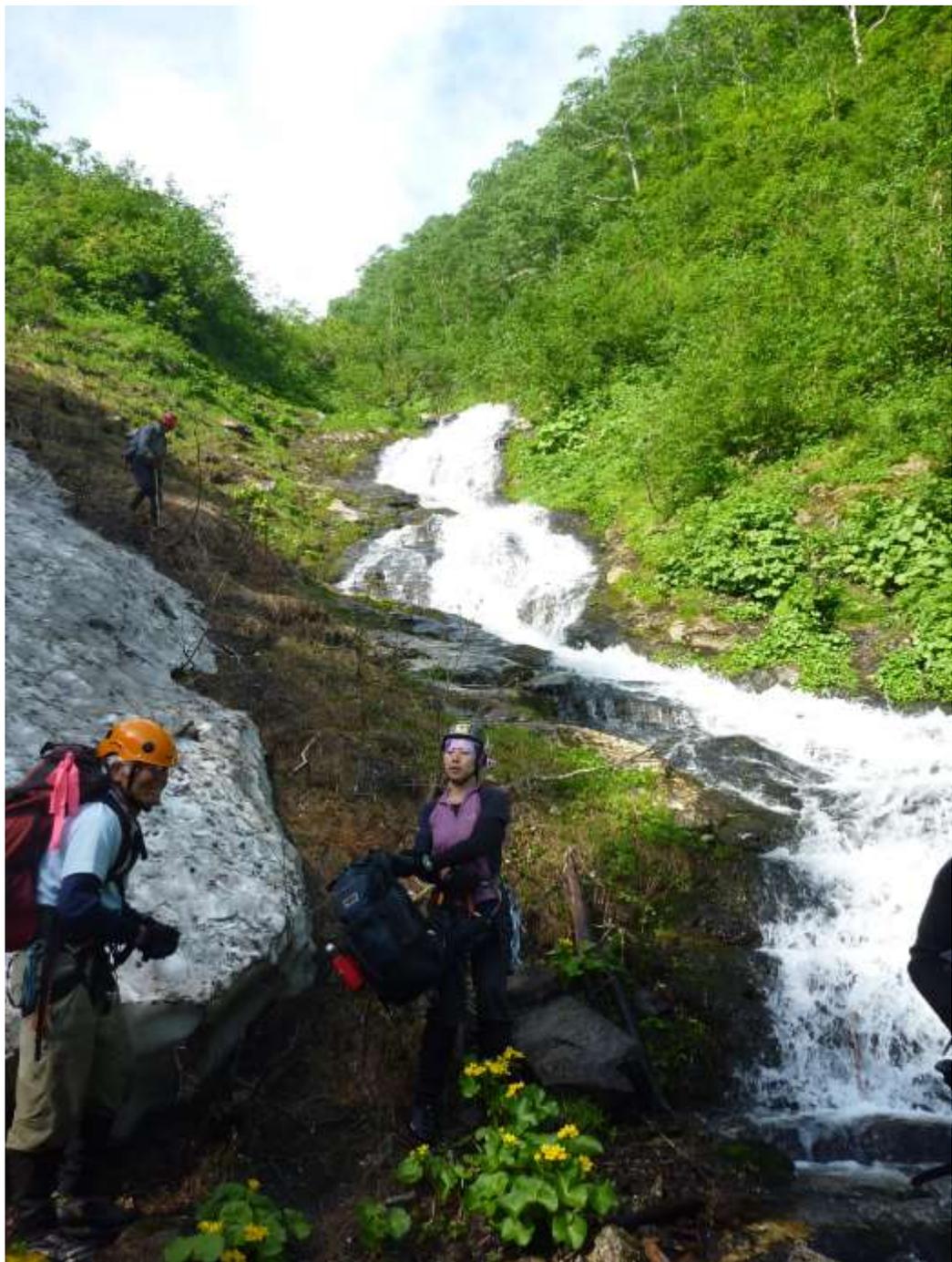
登山道ができる前は

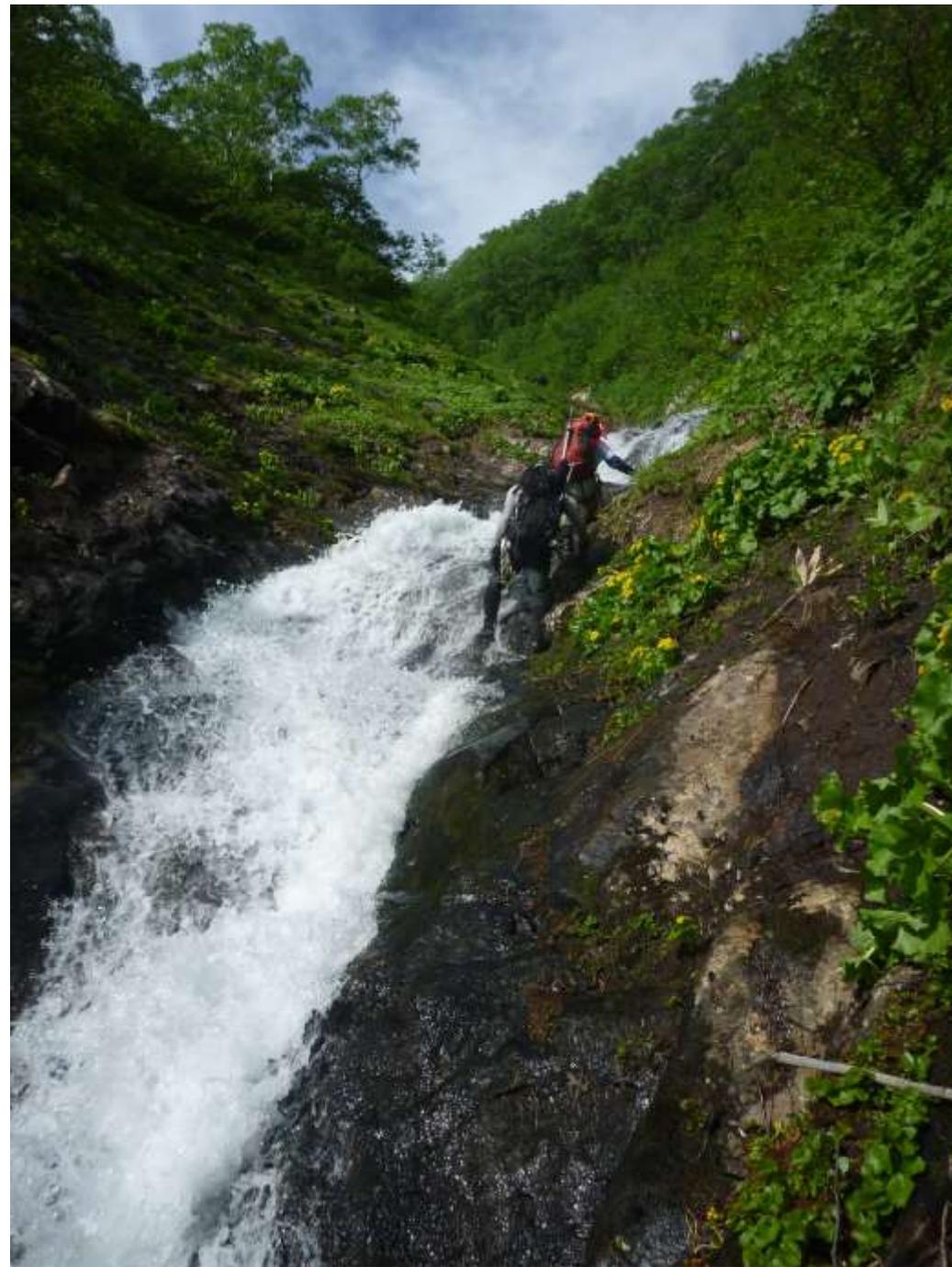
こんな感じだったのでしょう

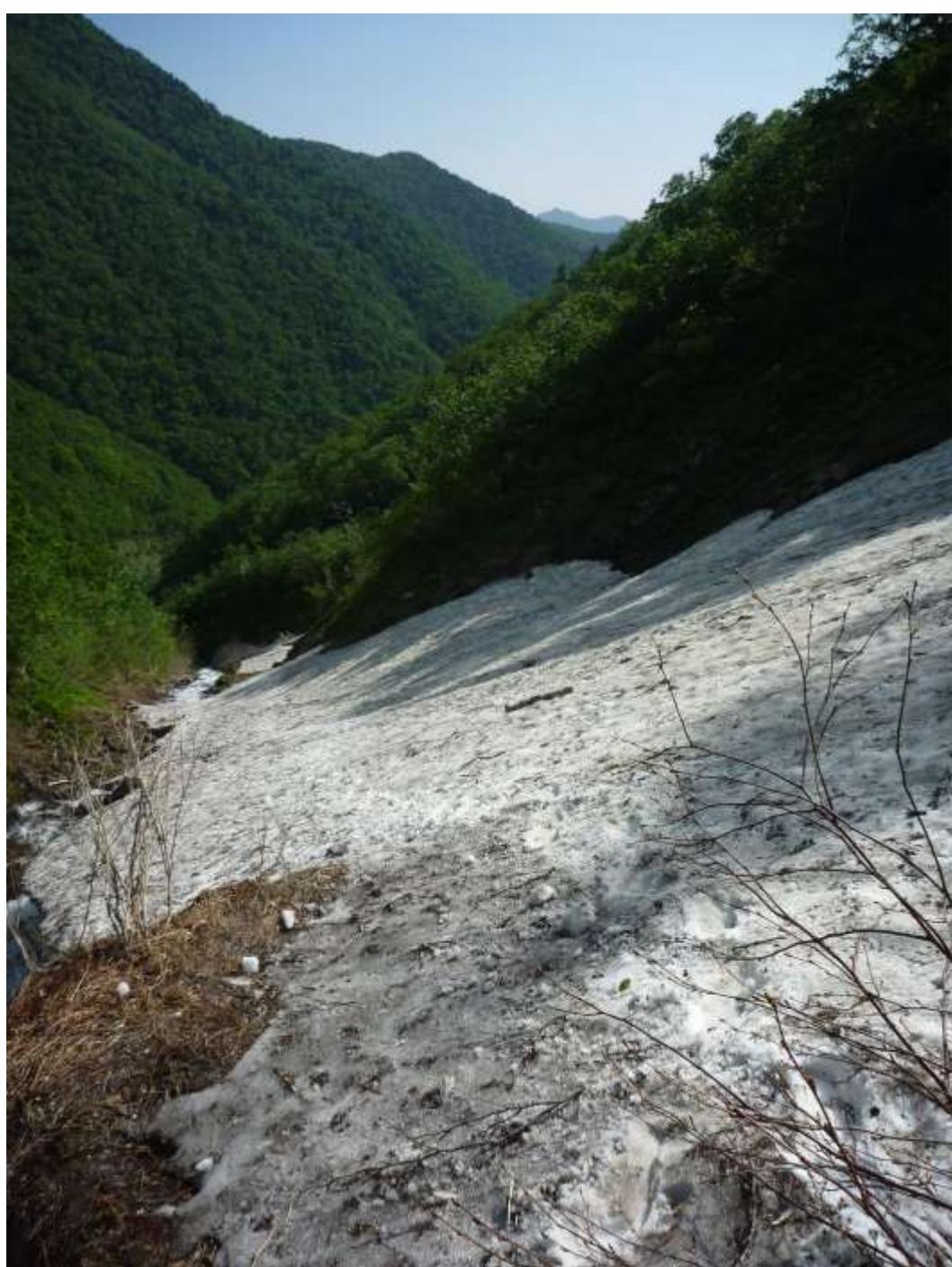
















# 被災前の伏美岳













# 平成28年大雨被害

平成28年8月中旬から台風7号、11号、9号が続々と北海道に上陸し、さらに前線を伴う降雨と台風10号の接近により、北海道東部を中心に河川氾濫や土砂災害が発生しました。

芽室町では芽室川が氾濫し住宅地が冠水、日高山脈も各地で崩落が発生し、伏美岳登山口へのアクセスの良さを支えていたトムラウシ沢林道も大きな被害を受けました。



北海道へは、気象庁の統計開始（1951年）以来初めて年間2個の台風が上陸（再上陸も含めると3個）  
さらに台風第10号の接近で被害発生  
資料）国土交通省









# 大雨被害後のトムラウシ沢林道の調査







































# トムラウシ沢林道の復旧工事

# 工事中

工事名 トムラウシ沢林道改良工事

期 自 令和 6 年 5 月 9 日  
間 至 令和 6 年 11 月 11 日

施工者 西江建設株式会社  
(電話) 0155-25-9105

発注者 十勝西部森林管理署  
(電話) 0155-24-6118



# お願い

この先林道工事中のため  
通行出来ません  
工事関係者以外の立入りを  
禁止します

西江建設(株)





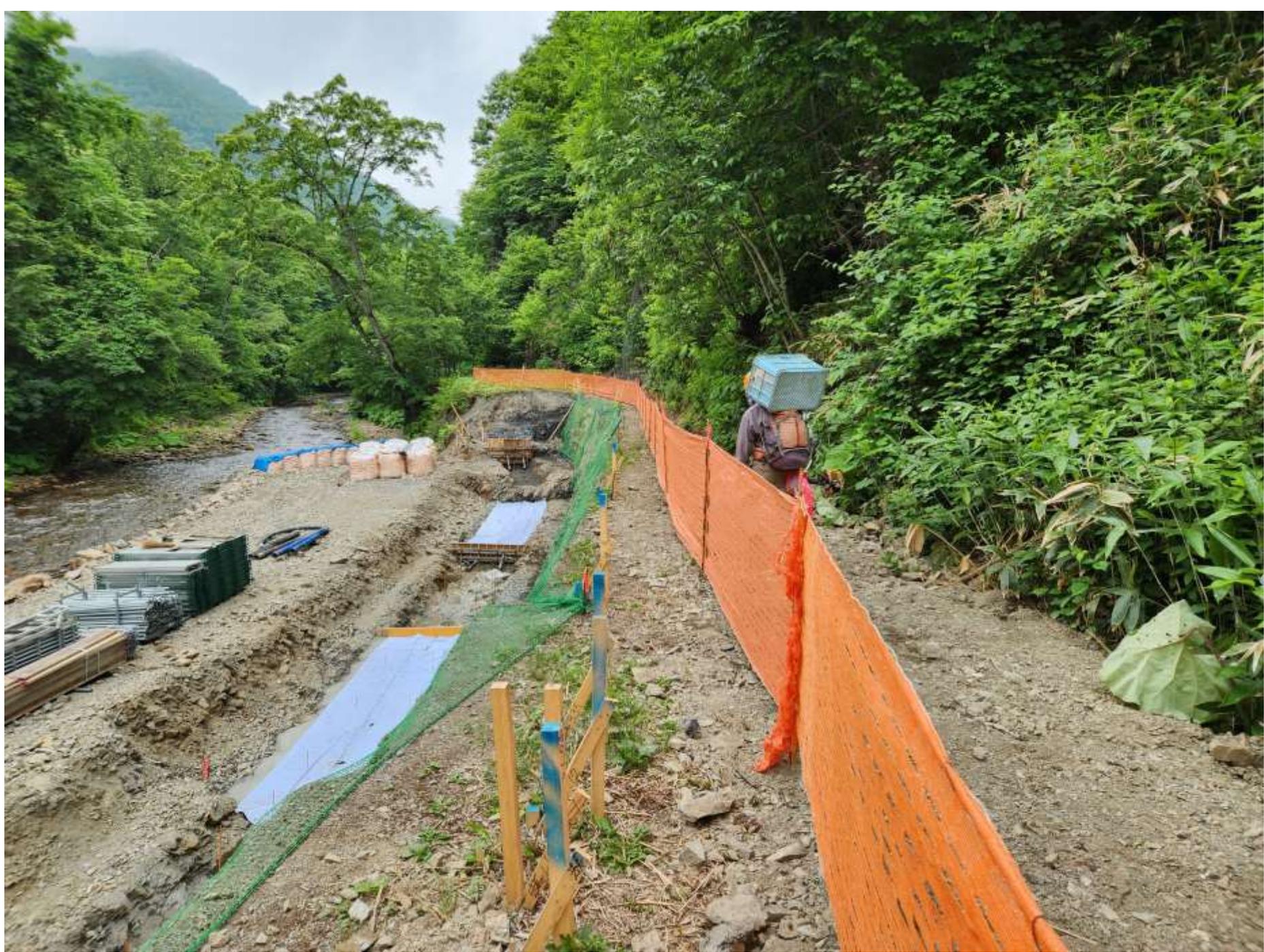


# トムラウシ沢林道の現在

令和6年6月22日調査





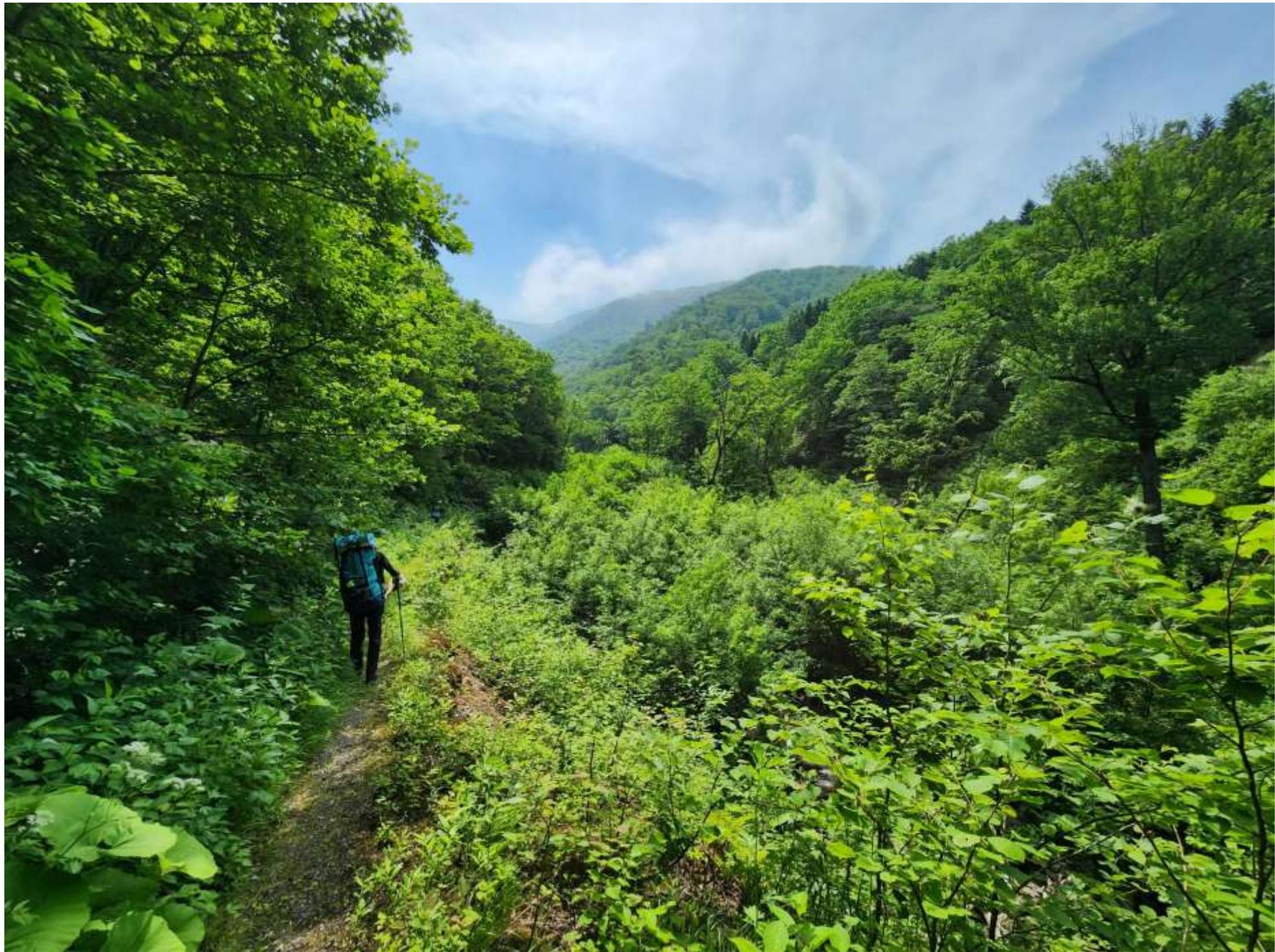


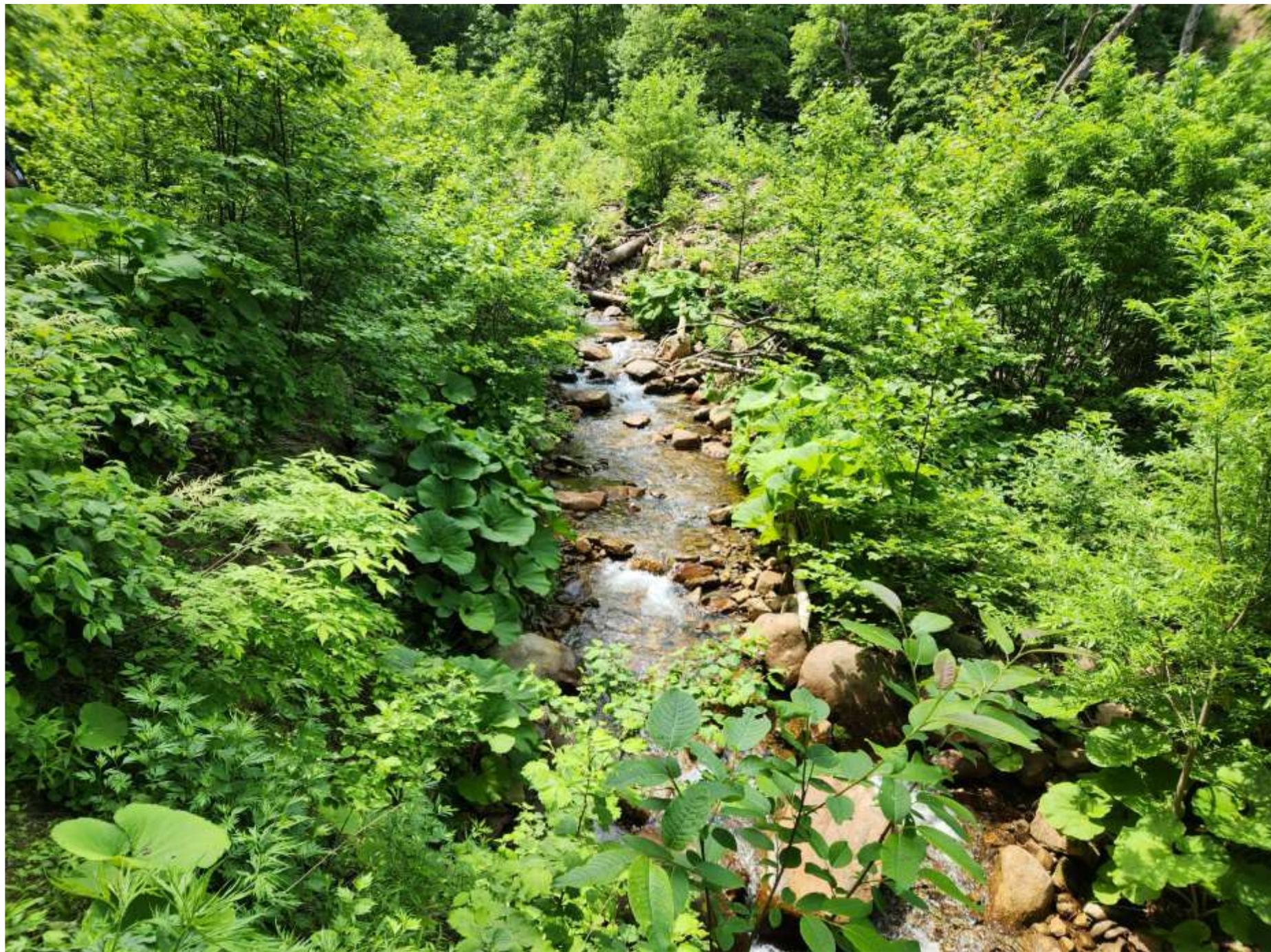














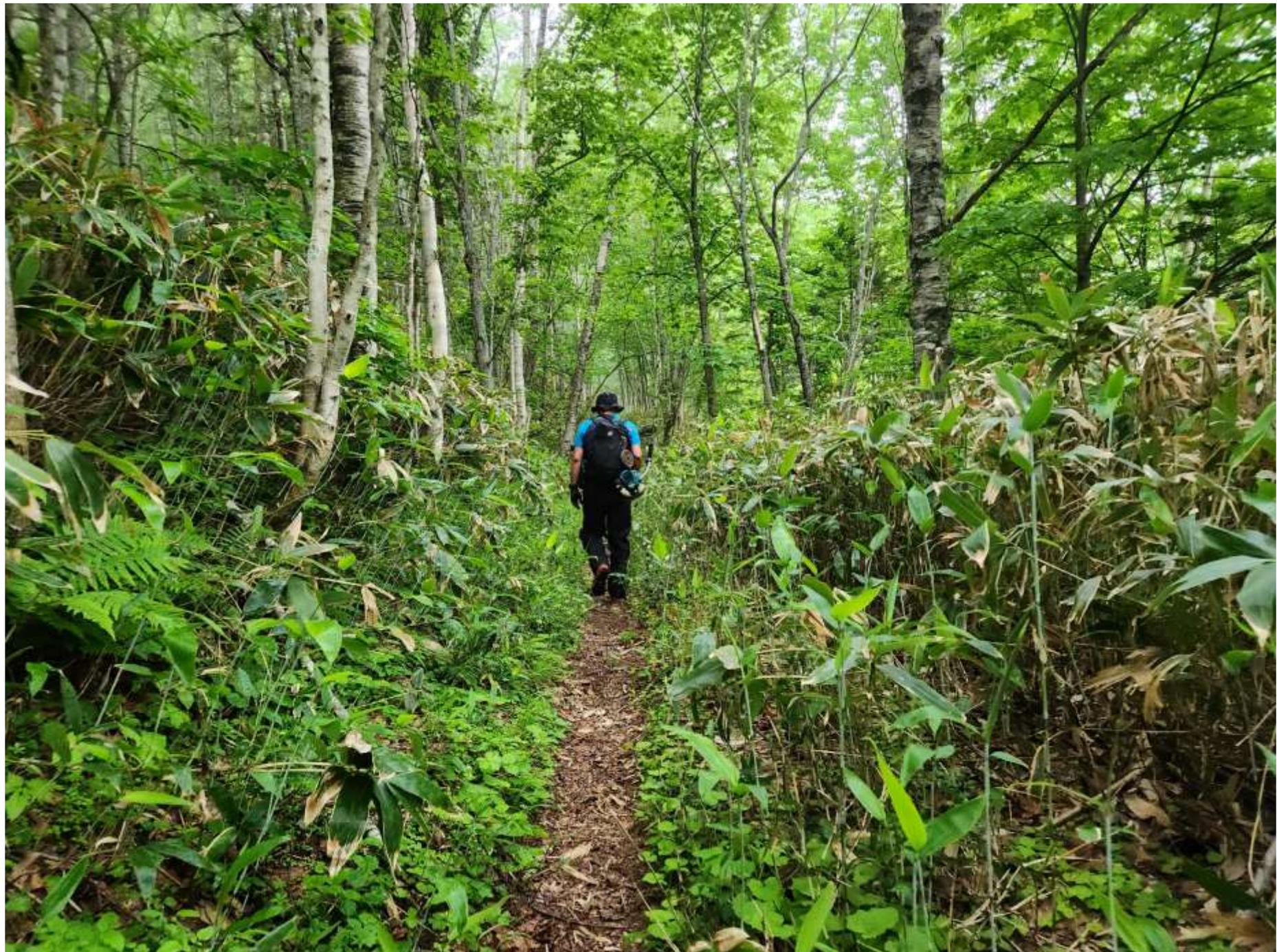


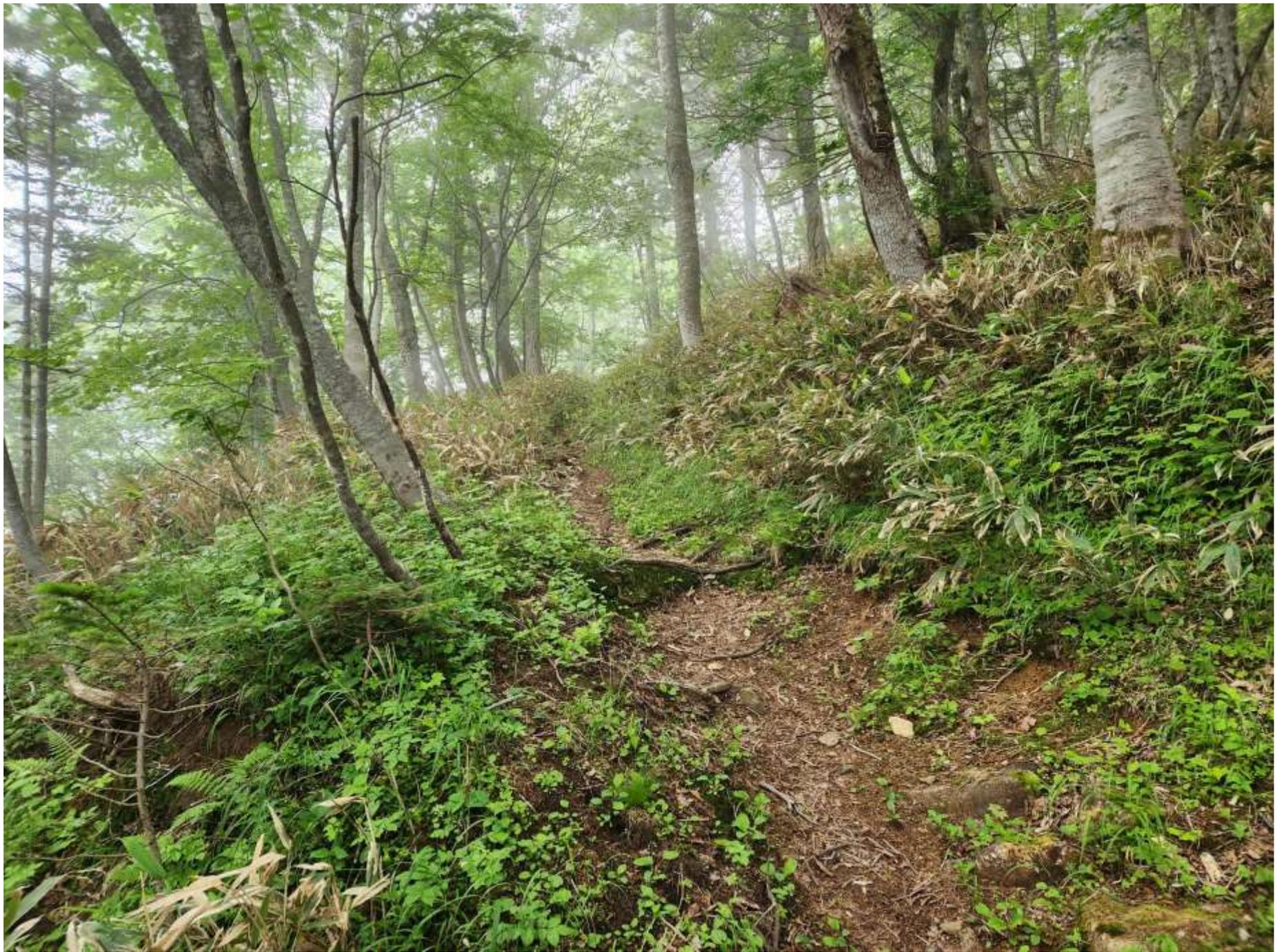


伏美岳の登山道は

影響ありませんでした























# 伏美岳避難小屋の塗装



















# 伏美岳のトイレ事情







お 願 い

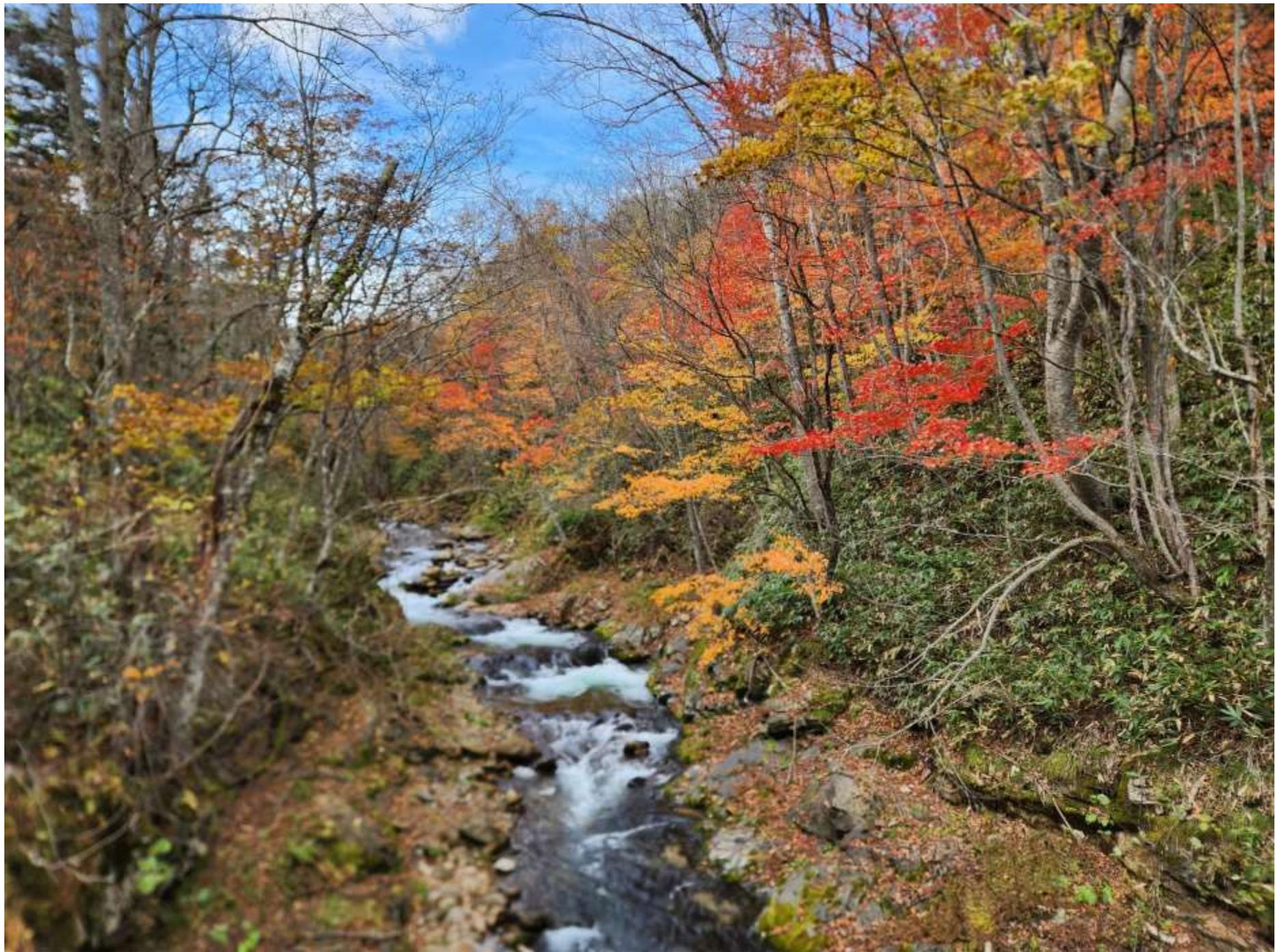
汲み取りできない状況です  
携帯用トイレの  
使用ボックスとしてのみ  
ご使用ください



お 願 い

汲み取りできない状況です  
携帯用トイレの  
使用ボックスとしてのみ  
ご使用ください





あなたも伏美岳を楽しみに

いらっしやいませんか？